

草の根・人間の安全保障無償資金協力 ナリン州ジュムガル地区教育案件引渡し式典の実施

7月8日、合田秀樹駐キルギス特命全権大使はナリン州ジュムガル地区バイザック区行政府を訪れ、草の根・人間の安全保障無償資金協力令和3年度「ナリン州ジュムガル地区バシ・クーガンディ区学校及び幼稚園教育環境改善計画」の機材引渡し式典に出席し、機材が供与された学校及び幼稚園を視察しました。

本案件は、バイザック行政区バシ・クーガンディ村に所在するジャムグルチェフ幼稚園及びサディバカソフ学校に対し、計40,362米ドル相当の学習机・椅子及び給食用機材等を整備することにより、同園に通う園児及び同校に通う児童・生徒の教育環境の改善を図ることを目的とするものです。

合田大使はジョルドシェヴァ・グルザット・ジュムガル地区副地区長及びバティロフ・ジョーダットバイザック区行政区長をはじめとする出席者の皆様にご挨拶申し上げ、本式典に出席することは大変喜ばしい旨述べました。また、また、日本が明治時代初期における近代化及び第二次世界大戦後の高度成長の基礎となったのは教育が重視されたことであると述べ、「キルギスにおいても、これまでの発展計画、更には2030年までの発展計画において、教育に対して重点が置かれていると承知します。今回供与する教育機材により、バシ・クーガンディ村の初等・中等学校、幼稚園での教育環境が改善され、子供たちが安心して快適に勉強することが望めます」と述べました。

